

第6回 ツキノワグマ対策関係部局長会議 知事コメント

- 5月20日、今年度3件目となるクマによる可能性が高い死亡事故が発生しました。お亡くなりになられた方の御冥福をお祈りします。そして、御家族や関係の皆様には深くお見舞いを申し上げます。人身被害がこれまでになく早いペースで立て続けに発生し、かつ市街地への出没や農畜産物への被害も相次いで報告されるなど、危機的状況が続いています。
- クマの活動範囲が広がり、人の生活圏にまで侵入している状況が続いていることから、県民の皆さんにとっては、クマと遭遇するリスクが**日常生活でも高まっていることを意識**してください。県のクマ出没情報共有アプリ「Bears（ベアーズ）」や市町村で発信している情報にも注意しながら、引き続き、**クマを寄せ付けない取組とクマとの遭遇リスクを回避する行動**をお願いします。
- 県は、令和7年11月に策定した「ツキノワグマ対策基本方針」に掲げる5つの柱の対策を加速すべく、**緊急時における市町村への支援体制や捕獲体制を強化**します。そして、クマを人の生活圏に寄せ付けない対策として、市町村等と連携して、県民に対して誘引物となる**農作物等の管理の徹底**の注意喚起や、ゾーニング管理のための**緩衝帯の整備**などに取組みます。
- 各部局においては、県民の安全・安心の確保のため、それぞれが担う**対策を加速**してください。そして、関係機関・団体と連携し、県民の皆さんに対し、クマを寄せ付けない取組とクマとの遭遇リスクを回避するための情報発信に一層取り組んでください。
- 県民の命を守り、安全・安心な岩手としていくために、市町村、猟友会をはじめとした関係団体が緊密に連携して、全庁を挙げてクマ被害防止対策に取り組んでいきましょう。